

来週の「売り物記事」はこれ



2018年7月6日号

毎日新聞東京本社 編集局・販促宣伝部

手で見るいのち

動物の骨を触って「生物」を学ぶ、視覚障害の子供たち

8日(日)



筑波大付属視覚特別支援学校（東京都文京区）で、動物の骨を触って観察する生物の授業が40年以上前から続いています。

目の不自由な生徒が視覚に頼らず、生物を学ぶにはどうしたらいいか。その難題に正面から取り組んだ同校の授業を約半年にわたって取材しました。また、この授業をきっかけに、さまざまな分野に活躍の場を広げる卒業生の姿も描いています。

筆者は科学環境部の柳楽未来記者です。



松田喬和のずばり聞きます

夕刊特集ワイド 9日(月)

シンガポールでの歴史的な米朝首脳会談から間もなく1カ月を迎えます。軍事的緊張から一転して雪解けムードの両国ですが、安倍晋三首相が「最重要課題」とする日本人拉致問題は進展していません。

日本外交のあるべき姿について、2002年の「小泉訪朝」を実現させた元外務省審議官、田中均・日本総合研究所国際戦略研究所理事長（71）に松田喬和・毎日新聞特別顧問が、ずばり聞きました。



晴れ時々OFF 人生初の座禅体験

くらしナビ面 10日(火)



暑さが続くと、たまには日常から離れ、静寂の中に身を置きたくなるものです。そこで記者は、幕末の「江戸無血開城」でも活躍した旧幕臣・山岡鉄舟ゆかりの禅寺「全生庵（ぜんしょうあん）」（東京都台東区）に足を運び、人生初の座禅に挑みました。

自然と一体になる感覚、やがて生じる雑念、その先に見えてきたものは、果たして——。ユーモラスな体験記をお届けします。

ニッポンの食卓 第3部 それって健康？

くらしナビ面 11日(水)から

スーパーやコンビニで売られている加工食品に、保存料・合成着色料の「不使用」「無添加」という表示を見かけます。健康を考えて安心感を抱く人も多いでしょう。しかし表示の「意味」を理解すると、かえって誤解や混乱を招いていることがわかります。

シリーズ「ニッポンの食卓」第3部は、菌活ブームや糖質制限など健康にまつわるトピックを取り上げます。



味覚障害を改善するには

医療福祉面 11日(水)



専門の医師が読者の病気の悩みに答える「きょうのセカンドオピニオン」。そのワイド版として、相談が多かった味覚障害について特集します。

味がわからなくなる原因で多いのが、口の中の唾液量の低下。それを改善するため、身近な食材を使った独自の方法を考案した笹野高嗣・東北大名誉教授（口腔診断学）に答えていただきました。

山は博物館 それは戦時下だった 高野山ほか 科学環境面 11日(水)

山のさまざまな話題を取り上げ、登山の楽しみを広げる「山は博物館 それは戦時下だった」。11日掲載の4回目は、高野山を取り上げます。

太平洋戦争中、宿坊に寄宿しながら厳しい訓練を受けていた海軍飛行予科練習生(予科練)から、特攻ボートの搭乗者が送り出されました。その時の練習生の心の揺れや決意を紹介します。

比叡山では、特攻練習機の発射基地が建設されていたことも分かりました。



論点 万引きと日本社会 問題解決への道はどこに

オピニオン面 11日(水)



カンヌ国際映画祭で最高賞の「パルムドール」に輝いた是枝裕和監督の映画「万引き家族」が話題になっています。映画では、貧困の中、万引きで生活費を補いながら生きる一家の「絆」が印象的です。

けれども、現実社会では、万引きは犯罪(窃盗罪)。小売業者にとっては経営上、深刻な問題です。解決への道はあるのでしょうか。

時代が見える——。オピニオン面にご期待ください。

「真夏の球宴」が開幕 第89回都市対抗野球大会

一面、スポーツ面など 14日(土)

「第89回都市対抗野球大会」(毎日新聞社、日本野球連盟主催)が13日、東京ドームで開幕します。前回大会で36年ぶり2度目の優勝を果たした東京都・NTT東日本が史上6チーム目の連覇に挑むほか、王座奪回を目指す一昨年の覇者、豊田市・トヨタ自動車、攻守に充実した戦力を誇る狭山市・ホンダ、投手力が光る大阪市・大阪ガスなど、全国から集まった32チームが優勝旗「黒獅子旗」を目指して熱戦を繰り広げます。

創部7年目で初出場の岩手・金ヶ崎町・トヨタ自動車東日本の戦いぶりにも注目。24日の決勝まで「真夏の球宴」の興奮を密着取材でお届けします。

